

18 歯科口腔外科フェロー研修要綱

指導責任者 加納 欣徳

研修目標

主に小児の歯科および口腔外科疾患の診断と治療の基礎知識を獲得し、同時にその臨床能力を身につける。

1年目の研修内容

歯科疾患：外来診療の見学、治療の介助を通して基礎的な知識を獲得あるいは再確認した後、指導者のもとで外来診療を行う。

口腔外科疾患：外来診療の見学、治療の介助を通して基礎的な知識を獲得し、入院患者の担当医として、周術期管理を指導者のもとで行う。また、術者として小手術を行うこともある。

2年目以降の研修内容

歯科疾患：単独で外来診療を行う。研修の到達度によっては、自らの外来診療枠を持つことを可能とする。

口腔外科疾患：自らも外来診療を行い、診断や治療方針を立案し、外来手術は術者として行う。入院患者の担当医として周術期管理を実際に行い、小手術は術者として行う。

その他

歯科にこだわらない幅広い小児の医学的基礎知識獲得のため、センター内の医科診療科への見学を妨げない。

可能な限り学会発表や論文執筆を行う。

日本口腔外科学会准研修施設、日本小児口腔外科学会研修施設、日本有病者歯科医療学会研修施設に認定されています。